

事業名 美術鑑賞講座

目的 美術に関連する講座を行い、美術館や美術作品に親しむ機会とする

実施主体 新潟県立近代美術館

参加対象 一般

参加者数 ①31 ②25 ③43 ④65 ⑤55 ⑥24 ⑦13 ⑧34 ⑨実施予定
合計290

回数 9日 **時間** 各回約1.5時間

会場 新潟県立近代美術館講堂

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月26日14時～	話します!コレクションの成り立ちⅠ西洋美術編	桐原浩学芸課長代理
	内容・方法	企画展に即し西洋美術の所蔵品を中心に収集方針とコレクションの成り立ちと作品の背景について紹介	
2	5月3日14時～	話します!コレクションの成り立ちⅡ日本美術編	横山秀樹副館長
	内容・方法	日本美術の所蔵品について収集のいきさつ、エピソード等を紹介	
3	6月7日14時～	佐渡の人間国宝 三浦小平二～人と作品～	宮下東子主任学芸員
	内容・方法	小平二の当館所蔵作品を中心に履歴・作品を紹介、竹子夫人による旅の思い出の話も披露	
4	7月12日14時～	マティスとルオー：巨匠を支えた陰の立て役者たち	濱田真由美主任学芸員
	内容・方法	両者の作品はじめ画商・コレクター・美術評論家等とマティスとのかかわりを紹介	
5	7月26日14時～	ジョルジュ・ルオーの魅力：線と色彩	平石昌子主任学芸員
	内容・方法	ルオーの作風の変遷、特徴的な輪郭線や色調を生み出した技法について紹介	
6	9月6日14時～	長岡出身の洋画家 小山正太郎	長谷川重雄学芸課長
	内容・方法	不同舎での後進の育成、岡倉天心との論争、美術教育とのかかわりについて紹介	
7	10月11日14時～	砂浜を描いた洋画家 國領経郎と柏崎	池上秀敏学芸課長代理
	内容・方法	当館所蔵作品の作風の異なりと砂丘を描くようになったいきさつと作品等を紹介	
8	11月15日14時～	日本画家 岩田正巳と新興大和絵の画家たち	長嶋圭哉美術学芸員
	内容・方法	戦前の作者の大和絵や新興大和絵の画家たちとのかかわりや作品、その後等を紹介	
9	3月21日14時～	ジャポニズムと浮世絵版画	立川厚生主任学芸員
	内容・方法	近代西洋絵画に影響を与えた浮世絵版画とジャポニズムの作家や作品を紹介	

成果 ・ 昨年同様9回実施し、いきいき県民カレッジとも連携し、テーマ毎に興味・関心のある方が参加した。各講座では豊富なスライドや資料提示を行い、一般的または専門的な知識・理解、美術文化に対する造詣を深めるよう努めた。参加者からは、おおむね好意的な意見が寄せられた。

課題 ・ 企画展・常設展のテーマに関連した内容と地域の作家にかかわる二本立てで実施した。今後も大きな方針は変わりはないが、複数回参加できる連続講座や一般の方にも分かりやすく親しみのある内容になるよう努める。

問合せ先 新潟県立近代美術館学芸課 電話：0258-28-4112